

平成 2 9 年
第 9 回 9 月 定例 教育 委員 会 議 事 録

平成 29 年 9 月 21 日

大 野 城 市 教 育 委 員 会

次 第

1 招集日時

- 招集日 平成 29 年 9 月 21 日
- 開会時間 午前 10 時 40 分
- 閉会時間 午前 11 時 30 分

2 招集の場所 大野城市役所 本館 4 階 委員会室 3

3 会議次第

(1) 議事録署名委員

- 平成 29 年第 8 回議事録の署名委員 高木 和敏 委員
- 今回議事録の署名委員 安部 一枝 委員

(2) 議事

- 第 37 号 大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画検討委員会委員の委嘱及び任命について

(3) 教育長報告 なし

(4) 報告

- ①平成 29 年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査分析について
- ②平成 30 年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果について

(5) その他

- ①教育長の業務報告（8～9 月分）
- ②教育委員会の主な行事・業務の予定（平成 29 年 10 月分）
- ③心の教育公開授業の日程について
- ④第 6 次大野城市総合計画審議会委員について

4 出席した委員等 吉富 修（教育長）角 敬之 安部 一枝 高木 和敏 松本 民仁 梶原 千春

5 欠席した委員

6 出席した職員

教 育 部 長	平田 哲也
教 育 政 策 課 長	船越 康二
教 育 振 興 課 長	森永 希代美
教 育 指 導 室 長	野口 英世
ス ポ ー ツ 課 長	船越 善英
ふるさと文化財課長	石木 秀啓
教育政策課係長	葉山 賀瑞江
教育政策課担当	渡邊 洋介

7 会議の書記

教育政策課教育政策担当 渡邊 洋介

午前10時40分 開会

○吉富教育長

それでは、ただいまより平成29年9月定例教育委員会を開会いたします。
傍聴の申し出はあっておりません。

〔議事録承認〕

○吉富教育長

議事録の承認でございます。前回、8月定例会にて高木委員さんをお願いしておりましたので、署名をお願いいたします。

○高木委員

はい。

○吉富教育長

今回の議事録の署名につきましては、安部委員さんをお願いいたします。次回の委員会においてご署名をお願いいたします。

○安部委員

はい、承知しました。

〔議 事〕

〔第37号議案 大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画検討委員会委員の委嘱及び任命について〕

○吉富教育長

早速ですが、議事に入らせていただきます。

第37号議案、大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画検討委員会委員の委嘱及び任命について説明をお願いいたします。

石木課長、お願いいたします。

○石木ふるさと文化財課長

おはようございます。ふるさと文化財課です。

ふるさと文化財課からは、第37号議案といたしまして、大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画検討委員会委員の委嘱及び任命について、別紙のとおり提案させていただきます。

理由といたしましては、大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画検討委員会設置規則第3条の規定に基づきまして、検討委員を委嘱、任命するものでございます。

お手元の資料2ページ目に、検討委員会委員に選出されました17名の一覧を上げております。

説明は以上でございます。

○吉富教育長

説明をいただきました。ただいまの説明につきまして質問はございませんか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○吉富教育長

それでは、第37号議案について、承認することに異議はございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○吉富教育長

異議なしですので、第37号議案は承認すべきものと決めます。ありがとうございます。

〔教育長報告〕

○吉富教育長

次に進ませていただきます。議事は終わりましたので、4番の教育長報告です。

今回、特に委員の皆様にご報告する内容はございません。

〔報 告〕

○吉富教育長

続けさせていただきます。

5番、報告。(1)平成29年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査分析について、教育指導室長、野口先生、お願いいたします。

○野口教育指導室長

こちらの別冊の資料をお出してください。よろしくお願いいたします。

それでは、枚数もございますので、要点、ポイントの分の分析結果を報告させていただきます。

2ページをお願いいたします。

今年度の調査結果の概要につきまして、小学校でも中学校でも大野城市は、福岡県、全国よりも高い状況でございます。特に今年度の特徴としましては、中学校の国語A、そして数学A、Bにおきましては、かなり著しい向上が見られています。中学校の先生方の日々の授業改善や補充学習、また小学校との接続の有効性がうかがえると考えております。

ちなみに、3ページには小学校の国語の調査結果を載せております。③の正答数分布のグラフを御覧ください。こちらは、今年度の正答数と、全国、県と大野城市を比較したもので、大野城市が棒グラフになっていますが、例年と比べますと、大野城市の正答数の多い子どもたちの数が増えております。黒点々の折れ線グラフが県と全国になるんですけれども、現段階で学力の厳しいお子さんの数が若干減少し、得点数が高いほうに移行している傾向がございます。今年度、そして次年度も含めて、低学力のお子さんへの対応と、また現段階で学力の高い子への対応を検討していきたいと思っております。

4ページをお願いいたします。

こちらは小学校国語で、特に全国でも県でも点数が低かった問題について、それぞれ課題を解決するためにこんな授業をしていく必要があるということで、国立教育政策研究所の解説書をもとに、先生方にお伝えする内容として示しているところでございます。今後、校長会、それから各学校の先生方への周知を図っていききたいと思っております。

5ページ以降につきましても、同じような流れで、算数、中学校国語、それから中学校数学といった形で分析をしておりますので、また後ほど御覧いただけたらと思い

ます。

11ページからになります。こちらは大野城市が例年しております児童・生徒の質問紙に関する分析でございます。

①の基本的な生活習慣ですが、高い傾向にある場合は白丸にしておりますし、若干全国、県よりも低い場合には黒丸で示しております。例えば、朝食の場合でございますと、毎日食べている児童の割合は、小学校では福岡県、全国より高い傾向にあります。中学校では、福岡県よりは高いのですが、全国よりは若干低い傾向にある。そういった質問紙の回答でございます。

また、その下に相関分析としておりますが、こちらは、しているお子さんと全くしていないお子さんの正答率を棒グラフであらわしているものでございます。小学校では、国語Aを除いて、特に算数Aでは顕著に朝食を食べているお子さんのほうが正答率が高い傾向にございます。中学校でも、国語A、数学Aを除いて相関は見られます。毎日食べていると回答した生徒は教科の正答率が高いということが、この分析からうかがえます。

同様に、12ページ、13ページ以降、こういった分析をしておりますので、後ほどまとめて報告をさせていただきます。

さらにページをめくっていただきまして、29ページをお願いします。

経年比較でございます。平成19年に全国学力・学習状況調査が復活しまして、ちょうど10年になりますが、大野城市のこれまでの傾向でございます。

小学校の国語Aにつきましては、25年度に特に高いポイントをとっている傾向がございましたが、昨年度に比べますと104ということで、やや上昇傾向にございます。国語Bにつきましては、平成26年度に103で一旦落ちている部分がございますが、27、28、29とまた盛り返しているような状況がございます。算数A、Bにつきましては、全国を100に値しますと、全国よりも高い傾向にありますが、現在横ばいの状況にありますので、また学習指導等もこれから周知をし、結果につなげていけたらと考えております。

30ページをお願いします。

中学校です。国語Aにつきましては、平成21年度から平均すると103の傾向がございましたが、今年度106ということで、向上が顕著に見られます。また、国語Bにつきましても、27年度から102、103、105というところで、向上が見られるところでございます。

冒頭申しました数学につきましては、平成20年度に数学Aが115という非常に高い状況でありましたけれども、今年度108ということで、そこにだんだん戻りつつあるような顕著な向上が見られます。また、数学Bにつきましても、106から108ということで、だんだん上昇傾向が見られる様子が見えます。

31ページからは、平成19年度から29年度までの児童・生徒質問紙の推移について載せておりますので、また後ほど御覧ください。

最後になります。申しわけございません、32ページの後のページがついていないところですが、調査結果からということで、こちらをまとめとしております。

まず、教科に関する調査の結果につきましては、先ほどの参考資料をもとに、学校の先生方にお伝えし、授業改善に役立てていきたいと思っております。

2番目、中ほどの児童・生徒質問紙の調査結果の1から6について、特に喜ばしい相関が見られました。1番、自尊感情、自分にはよいところがあると思う。これは、全国、福岡県よりも大野城市は高く、自尊感情が高い子どもほど正答率が高い傾向にあるということがうかがえます。

また、メディアとのかかわりですが、特に中学校では、携帯、スマートフォンを2時間以上使用している割合が全国、福岡県よりも低い状況が本年度はありました。中学校の学力向上の要因の一つではないかと考えております。

学習習慣につきましても、小学校、中学校ともに全国、県よりも毎日勉強している時間が長いという状況も学力向上につながっているのではないかと考えております。

また、喜ばしい結果で、家庭生活でうちの人と学校での出来事についてよく話をする。大野城市は全国、福岡県よりも高く、よく話をしている子ほど正答率が高いという相関が見られています。今後も家庭、地域とのつながりも含めて、こちらもお伝えしていければと思っております。

学習活動につきましては、やはり自分の考えをきちんと発表する機会が与えられているというところに大きな相関がございますし、(2)の総合的な学習の時間において、大野城市ではC V T学習で地域とのつながりも大事にした学習を展開しています。ここで自分の課題をしっかりと調べて発表する学習をしている子ほど、正答率が高いという相関が見られています。

最後です。教科が好きかという質問ですけれども、やはり国語、算数が好き、国語、数学が好きという回答が高いほど正答率が高い状況にあり、今後も子どもたちの学ぶ意欲を高めていきたいと考えております。

以上、報告になります。

○吉富教育長

説明が終わりました。全体的な説明にはなりましたが、何か資料をもっと詳しくする上でお尋ね、確認があれば、どうぞお願いいたします。

角委員、お願いいたします。

○角委員

福岡教育事務所管内で筑紫地区が多分あると思うんですけど、筑紫地区での大野城の位置づけというのを教えていただきたいんですが。

○野口教育指導室長

はい。こちらは一応データのほうはまとめています。

○吉富教育長

どうぞおっしゃっていいですよ。

○野口教育指導室長

はい、わかりました。後ほど持ってまいります。

○吉富教育長

それでいいですか。

○角委員

はい。

○吉富教育長

ほかに何かございませんでしょうか。資料の見方でも結構でございます。

先日、筑紫地区全体の中学校の校長会がございまして、講話に行きました。そのときに見せたデータがあるんですが、全国紙の新聞の中で、いつも秋田とか福井とか常連校が出ている中で、今度入ってき出したところがあるんですね。ほとんどこれまで

出てこなかった四国の愛媛です。愛媛が全国5位の中に入ってきました。

本市に一度来ていただいて講話をしていただいた露口健司先生が愛媛大学の教授になってありますが、県と相談し合いながら、愛媛県全体の学力を向上させる役目で、学識という立場でおられます。そのテーマは、つながりです。学習そのものも頑張っているんでしょうけど、学校と地域、教師と保護者、教師間のつながりなど、人間関係を大切にしたい学校づくりを進めることで着実に上がってきています。著書があるんですが、その中にも数年間のうちに全国上位に上がってみせると書いてあって、そのとおりになっています。ですから、もっともっと学校の中での教員同士の人間関係とか教員と生徒の関係とかにしっかりと意識を置いた学校づくりをしていかなければならないなと感じているところでございます。

いいでしょうかね。

[「なし」の声あり]

○吉富教育長

それでは、これについては終わらせていただきます。

次は、(2)平成30年度大野城市奨学資金奨学生の選考結果について説明をお願いいたします。

船越政策課長、お願いいたします。

○船越教育政策課長

平成30年度におきます大野城市奨学資金の新たな奨学生の選考結果について報告をいたします。

選考委員会を8月28日に開催いたしまして、安部委員、梶原委員を含む10名の選考委員の皆様方に選考をいただきました。

選考基準は、学業成績と収入の基準、それから作文の採点の結果、この三つを総合的に判断するものでございます。

選考結果といたしましては、高校生の奨学生につきましては、12名の申し込みに対し、5名を内定者といたしました。大学生につきましては、2名申し込みがございまして、基準で判断し、2名とも内定といたしております。

なお、ここ数年、内定者の辞退が多く出ていることで全体の支給対象者が減っているということもございますので、今回は初めて高校生につきましては補欠を1名選考いたしております。

それぞれ内定者の内訳は一番下に掲げているとおりでございます。
以上でございます。

○吉富教育長

説明が終わりました。何かお尋ねはございませんでしょうか。
安部委員、お願いいたします。

○安部委員

これは直接的な選考のあれではなく、私がこれに参加した感想です。2の選考基準の中の作文のタイトルに「私の叶えたい夢」とあるんですが、ここはシンプルに「私の夢」とか「将来の夢」とかとしたほうがいいのではないのでしょうか。私は選考でかなりの数の作文を読んで、必ずこのタイトルを目にするんですが、実は今回、あんまり前向きなイメージが湧かなかったんですよ。対峙語として、かなえたい、かなえられないという、私がイメージを持っているのかもしれないんですけど、ここはもう少しシンプルでもいいのかな、わざわざ夢に「叶えたい」というのをつけなくてもいいのかなという感想を持ちましたので、ここで述べさせていただきます。例えば、「私の夢」「将来の夢」「将来の私について」というようなことのほうが、中高生にとっては書きやすいのかなと思いました。

以上です。

○吉富教育長

いいですか。はい、どうぞ。

○船越教育政策課長

夢という言葉から、純粹に希望することとか将来のシンプルな夢というところで考えたいと思っています。ありがとうございます。

○吉富教育長

いいですか。

○安部委員

はい。

○吉富教育長

ほかにございませんか。

角委員、お願いします。

○角委員

テーマは毎年同じなんですか。

○船越教育政策課長

ここ数年はですね。

○角委員

何か理由はあるんですか。

○船越教育政策課長

特にございません。

○吉富教育長

はい、どうぞ。

○安部委員

どうしても奨学金という性質上、進路について、上級学校に進むための動機として何があるかというのを書いてもらうので、やはり奨学金のタイトルはこれが多いです。

○船越教育政策課長

年によっては視点を覚えて、違う視点でというところも。

○吉富教育長

何かご意見がございましたら、どうぞ。

○角委員

いや、奨学金をもらうというのは、当然上級の学校に行きたいという希望があるということですから、夢じゃなくてもいいんじゃないかなという気がするんです。必ずしも私の夢とか私の将来の云々とかというんじゃないかというのかなと。生き方でもいいし、夢に限る必要はないのかなと。ずっと何年間も同じだというのであれば、変えてもいいのかなと。

それと、もう一つよろしいですか。

○吉富教育長

はい、どうぞ。

○角委員

辞退者というのは、結局、希望の学校に入れなかったから辞退ということなんですか。辞退の理由を。

○船越教育政策課長

大学生の場合は、大学に合格できず浪人したとかというケースが多いです。高校生の場合は、例えば、私立学校の特別な特待生をもらった場合にはほぼ学費が要りませんので、そういったケースがほとんどですね。

○角委員

高校の場合はプラスの分ですね。

○船越教育政策課長

はい。

○吉富教育長

いいですか。

○角委員

はい。

○吉富教育長

以前からこれに携わらせていただいていますけど、この奨学金の原資ともなる篤志家の方のお考えでは、非常に立派な才能を持ちつつも経済的な理由のために行けない子を助けたいと、そこから出発してありますので、結局、着実な展望を抱いているかどうかを見たいといったことから、こんなふうになっているんだろうと思います。

また検討していただいて。

○船越教育政策課長

はい。また来年。

○吉富教育長

どうぞよろしく願いいたします。

ほかにございませんでしょうか。いいんでしょうか。

[「なし」の声あり]

[その他]

①教育長の業務報告（8～9月分）

②教育委員会の主な行事・業務の予定（平成29年10月分）

③心の教育公開授業の日程について

○吉富教育長

予定されておりましたものは全部終わりましたが、その他、事務局、お願いいたします。

○船越教育政策課長

1枚で、タイトルが第6次大野城市総合計画審議会についてという資料を本日机の上に置いております。これは総合計画を所管いたします自治戦略課からの依頼によるものでございます。現在の第5次総合計画の計画期間が30年度までとなっております、31年度からの第6次、新たな総合計画の策定につきまして、審議会を設置し、調査及び審議を行っていくものでございまして、教育委員から1名選任いただきたいと

いうことでございます。

項目の2の審議会委員についてということで、20名以内で、教育委員さんは（1）の大野城市関係機関の役職員というところに該当します。

項目の3、任期と開催回数を目安についてでございますけれども、一、二カ月に1回程度、年間8回程度を予定いたしております。

この場で協議いただいても構いませんし、委員会閉会后に皆様方で協議されてということでも構いませんが、後ほどということにいたしましょうか。

○吉富教育長

一旦閉じて、後でお話し合いの上、この一人を出していただくことが今日中にできますか。

〔「異議なし」の声あり〕

○吉富教育長

そしたら、閉会して、後でご報告を受けてください。

○船越教育政策課長

はい。

○吉富教育長

ほかに事務局ありましょうか。

委員の皆様方から何かありますか。

〔「なし」の声あり〕

○吉富教育長

それでは、ないようでございますので、これをもちまして9月度の定例教育委員会を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

午前11時30分 閉会